

琵琶湖森林づくり事業の実施結果について(概要)

4年間(平成18年度～平成21年度)の森林審議会の評価

県民税を活用した事業については、当審議会でも毎年点検・評価を行い、全体として着実な成果を上げつつあるものと判断しており、今後も継続して取り組んでいくことが必要と考える。

主な琵琶湖森林づくり事業の進捗状況

1 - 1 環境林整備事業

(H18'～H21'で 408,527千円を活用)

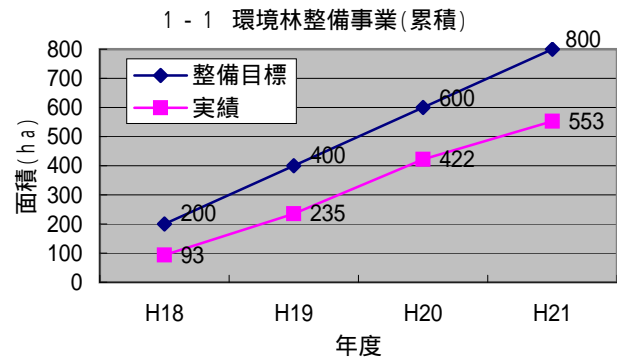
放置された人工林を強度に間伐することによって、環境が豊かで生態系に富み、針葉樹と広葉樹が入り交じった多面的機能が高い「針広混交林(環境林)」へと導きます。

【環境林実施面積】

(目標) 平成15年度 0ha
平成21年度 800ha(累計)

(成果) 平成21年度 553ha(累計)

(達成率) 69.1%



6 - 1 県民参加の里山づくり事業

(里山協定林推進事業)

(H18'～H21'で 90,743千円を活用)

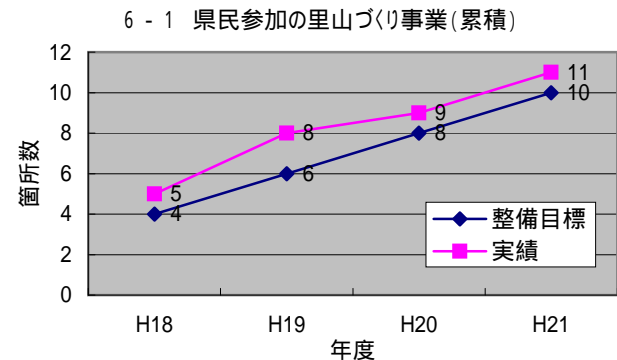
市町と森林所有者および里山保全グループとが協定を締結した里山(里山協定林)をフィールドに、計画から実行までを協働して継続的に行う保全活動を支援します。

【里山整備協定林の数】

(目標) 平成15年度 0箇所
平成21年度 10箇所(累計)

(実績) 平成21年度 11箇所

(達成率) 110%



8 森林環境学習「やまのこ」事業

(H18'～H21'で 227,693千円を活用)

次代を担う子どもたちが、森林への理解と関心を深めるため、学校教育の一環として、県内の小学校4年生を対象に森林環境学習施設において体験型の学習を実施。

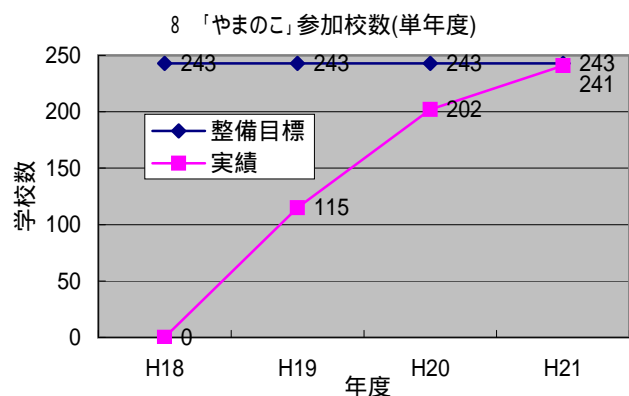
【森林環境学習「やまのこ」参加校数】

(目標) 平成15年度 -
平成21年度 全校

(成果) 平成21年度 241校

(達成率) 99.2%

(県内小学校(4年生学級)を243校として計算
森林環境学習「やまのこ」参加小学生は、平成21年度までで、延べ34,278人となりました。



県民の森林づくりに対する関心度の変化 (県政世論調査(H18、H21)より)

県民の森林づくりへの参加度および関心度は、3年間で上昇。
琵琶湖森林づくり事業として、着実な効果を上げつつあると考えられます。

	H18.6		H21.6	
森林づくり活動に参加しているまたは参加したことがある。	0.9%	⇒	6.4%	(参加度=)5.5ポイントの上昇
森林づくりに関心があり、参加したい。	47.5%		53.3%	(関心度= +) 11.3ポイントの上昇
森林づくりに関心がない。	47.1%		32.2%	
その他。	5.4%		8.2%	

数値は、個々の値を四捨五入をしているため、合計で100%になりません。

琵琶湖森林づくり事業の実施結果について

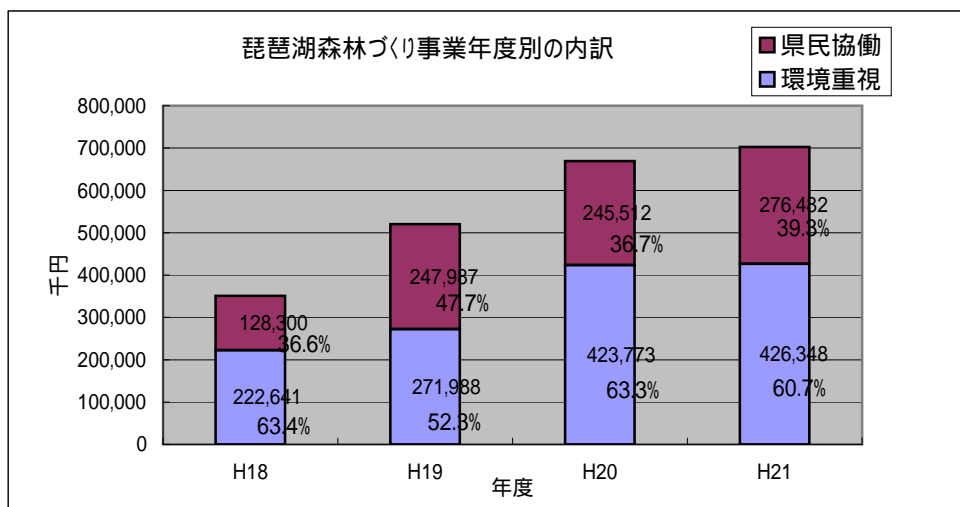
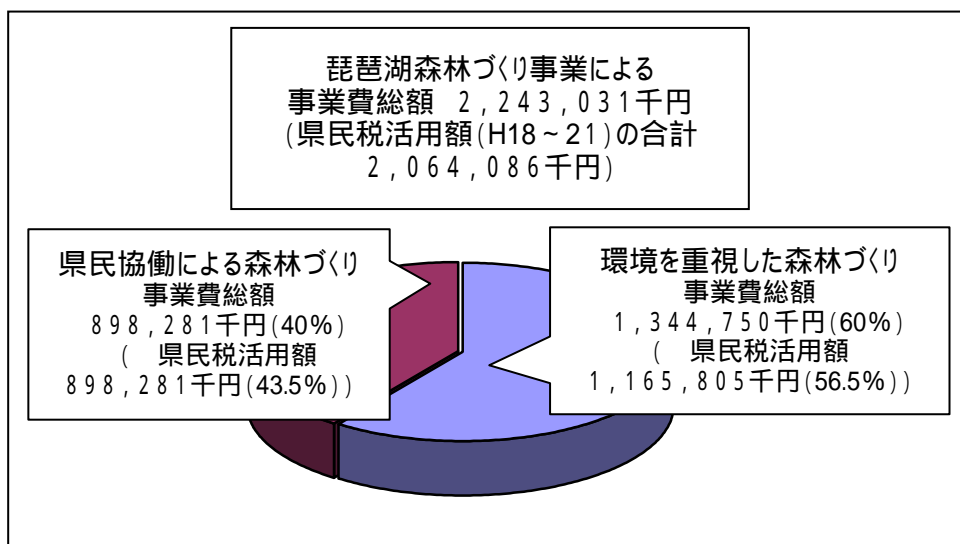
これまでの取り組みの結果

平成18年度から平成21年度までの4年間で、2,064百万円の税を活用し、全体事業費、2,243百万円により事業を実施しました。

このうち、約6割を「環境を重視した森林づくり」に、約4割を「県民協働による森林づくり」に活用しました。

「環境を重視した森林づくり」では、放置された人工林の強度に間伐により、針葉樹と広葉樹が入り交じった「針広混交林(環境林)」へと誘導する事業や、長伐期に誘導するための事業、間伐材を搬出・利用を促進する事業、さらに荒廃している里山に対して、枯損木等の除去や竹林整備などの森林整備を支援する事業などを行いました。

「県民協働による森づくり」では、県民が森林づくりに積極的に参画いただくための場づくりや地域の活動団体による森林づくりを支援する事業、流域の森林づくりのあり方について議論し、提案などを行う委員会の設置、木の温もりや良さを体感することができる機会を提供し、滋賀の風土に合ったびわ湖材を積極的に活用することを普及啓発する事業、さらに県内全ての小学校4年生を対象とする森林環境学習「やまのこ」事業などを行いました。



上記の金額は、国費を含む事業費総額です。
平成21年度実績は、現在集計中のもので、見込み数値も含まれます。

琵琶湖森林づくり事業 各事業の内訳
()事業費

(単位:千円)

施策の展開(事業名)	18年度	19年度	20年度	21年度	4カ年実績 合計額
環境を重視した森林づくり	222,641	271,988	423,773 (341,698)	426,348 (329,478)	1,344,750 (1,165,805)
1 陽光差し込む健康な森林づくり事業	128,269	139,701	254,284 (172,209)	212,379 (115,509)	734,633 (555,688)
1 - 1 環境林整備事業	65,998	104,985	141,030 (115,435)	96,514 (62,144)	408,527 (348,562)
1 - 2 農地漁場水源確保森林整備事業			91,119 (34,639)	101,371 (38,871)	192,490 (73,510)
1 - 3 森林環境の調査研究	62,271	34,716	22,135	14,494	133,616
2 長寿の森奨励事業	9,964	34,238	40,176	40,288	124,666
3 森林を育む間伐材利用促進事業	5,427	8,657	30,180	54,450	98,714
3 - 1 地球温暖化防止対策間伐材利用拡大事業	5,427	8,657	12,580	21,450	48,114
3 - 2 間伐材搬出対策事業			17,600	33,000	50,600
4 里山リニューアル事業	78,981	89,392	99,133	119,231	386,737
県民協働による森林づくり	128,300	247,987	245,512	276,482	898,281
5 協働の森づくりの啓発事業	16,039	13,795	15,757	14,009	59,600
6 みんなの森づくり活動支援事業	31,598	36,521	32,467	35,613	136,199
6 - 1 県民参加の里山づくり事業 (里山協定林推進事業)	20,348	25,512	20,797	24,086	90,743
6 - 2 みんなで始めよう森づくり活動公募事業	6,124	7,741	8,130	8,335	30,330
6 - 3 流域森林づくり委員会推進事業	5,126	3,268	3,540	3,192	15,126
7 未来へつなぐ木の良さ体感事業	80,283	146,765	110,888	136,853	474,789
7 - 1 木の香る淡海の家推進事業	22,131	27,949	28,811	32,532	111,423
7 - 2 木製品利用促進事業	7,523	84,004	42,909	69,666	204,102
7 - 3 木の学習机整備事業	38,178	14,507	26,485	21,300	100,470
7 - 4 森の資源研究開発事業	7,449	15,305	9,321	9,993	42,068
7 - 5 「びわ湖材」産地証明事業	5,002	5,000	3,362	3,362	16,726
8 森林環境学習「やまのこ」事業	380	50,906	86,400	90,007	227,693
合 計	350,941	519,975	669,285 (587,210)	702,830 (605,960)	2,243,031 (2,064,086)

平成20年度からは、環境林整備事業および農地漁場水源確保森林整備事業で国費を取り入れており、事業費全額を上段に、国費を除く琵琶湖森林づくり基金充当額を、下段()書きで表示しています。

平成18、19年度実施しました「環境保全につなぐ間伐材製品利用促進事業」は、集計の都合上、「7-2木製品利用促進事業」に取りまとめて計上しております。

()事業内容

環境を重視した森林づくりの取り組み

事業名 (事業費)	実施内容	事業量(4年間)
1 陽光差し込む健康な森林づくり事業 (734,633千円) 「放置された人工林」を強度に間伐することによって、環境が豊かで生態系に富み、針葉樹と広葉樹が入り交じった多面的機能の高い森林「針広混交林(環境林)」へ誘導。また、「針広混交林(環境林)」の調査研究なども併せて実施。		
1 - 1 環境林整備事業 (408,527千円) (H18' ~ H21')	市町と森林組合、森林所有者との協定に基づき、40%以上の「強度間伐」を実施し「針広混交林(環境林)」になるよう誘導。	553ha
1 - 2 農地・漁場・水源確保森林整備事業 (192,490千円) (H20' ~ H21')	手入れ不足の人工林を対象にして、緊急かつ重点的に除間伐を実施し、水源かん養機能等の多面的機能の高い森林となるように導く。	678ha
1 - 3 森林環境の調査研究 (133,616千円) (H18' ~ H21')	県下のほぼ全域を対象とした森林現況調査。 強度間伐による下層植生の変化についての追跡調査。 森林の手入れによる水環境への影響についての調査・研究。	間伐マップ(12市町) 環境林植生経年調査 ほか
2 長寿の森奨励事業 (124,666千円) (H18' ~ H21')		
成熟期を迎える森林を、手入れの行き届いた70～80年生の「長伐期林」に誘導することで、 水源かん養機能の高い森林に誘導。		
	市町と森林所有者等との長伐期の施業と管理に関する協定に基づき実施される高齢級間伐等の保育作業の準備に必要な活動に対して支援。	4,029ha
3 森林を育む間伐材利用促進事業 (98,714千円) 間伐材を搬出・利用することで、資源の循環と二酸化炭素の固定による地球温暖化防止に貢献。		
3 - 1 地球温暖化防止対策間伐材利用拡大事業 (48,114千円) (H18' ~ H21')	森林組合が森林所有者から間伐材を買い取りを行った場合、環境貢献価格と市場流通価格の差額を助成。	13,771m ³ (県内8森林組合)
3 - 2 間伐材搬出対策事業 (50,600千円) (H20' ~ H21')	間伐材の利用を促進するため、搬出のための簡易な間伐材搬出路作設を支援。	23,556m
4 里山リニューアル事業 (386,737千円) (H18' ~ H21')		
荒廃している里山を手入れして、県民が親しみ利用できる場所に整備。		
	市町と森林所有者とで結ばれる協定に基づき、県民に広く開放することを条件に、枯損木等の除去や竹林の整備などの森林整備を支援。	597ha

県民協働による森林づくりの取り組み

事業名 (事業費)	実施内容	事業量(4年間)
5 協働の森づくりの啓発事業 (59,600千円) (H18' ~ H21')	森林の価値や琵琶湖森林づくり県民税の目的・用途を県民の皆様に説明するとともに、森林づくりへの参加を促し、森林づくりの意義や税制度への理解と関心を高める。 「びわ湖水源のもりづくり月間」(10月)を中心に、「協働の森づくり」について、各種媒体を通じた情報発信や、実際に森の手入れを体験していただくなど森林づくりへの参加機会の提供等。	・森づくり活動 延べ25回 (5,772人) ・ラジオCM放送(FM滋賀)、交通広告、県広報・HP掲載 等
6 みんなの森づくり活動支援事業 (136,199千円) 県民の皆様が森林づくりに積極的に参画いただくための場づくりや、地域の活動団体による森林づくりを支援。また、流域森林づくりのあり方について、県・市町等に提案するほか、主体的に活動を行う組織づくりを行うことによって、地域特性にあった森林づくりを支援。		
6 - 1 県民参加の里山づくり事業 (里山協定林推進事業) (90,743千円) (H18' ~ H21')	市町と森林所有者および里山保全グループとが協定を締結した里山(里山協定林)をフィールドに、計画から実行までを協働して継続的に行う保全活動を支援。	11協定地域
6 - 2 みんなで始めよう森づくり活動公募事業 (30,330千円) (H18' ~ H21')	森づくりや資源利用、森林環境学習や森林づくりの人材養成など地域のNPO等が行う活動を支援。	45団体を支援
6 - 3 流域森林づくり委員会推進事業 (15,126千円) (H18' ~ H21')	地域住民、森林所有者、森林組合、NPO等が、流域の森林づくりのあり方について議論し、自ら森林づくりに関わるとともに、県/市町等に対して提言等を行う「流域森林づくり委員会」の設置やその活動を支援。	6委員会設立 ・活動支援
7 未来へつなぐ木の良さ体感事業 (474,789千円) 木の温もりや良さを体感する機会を県民の皆様提供することで、滋賀の風土にあったびわ湖材を積極的に使うことを普及啓発。		
7 - 1 木の香る淡海の家推進事業 (111,423千円) (H18' ~ H21')	木材の地産地消を進めるため、県内で建設業を営んでいる大工さんや工務店の方に、一戸建ての住宅を新築時に、びわ湖材の使用量に応じて助成。	新築 250戸 耐震補強 3戸
7 - 2 木製品利用促進事業 (204,102千円) (H18' ~ H21')	公共性の高い公園やホールなどの施設や学校・保育園を対象に、木製品の設置や建物内装の木質を促進し、県民の皆さんが木に触れる機会を提供するとともに木の良さを普及・啓発。	延べ179箇所
7 - 3 木の学習机整備事業 (100,470千円) (H18' ~ H21')	県内の小中学校等に県産材の学習机や椅子の導入を支援することにより、子どもたちに森林の大切さや木の良さを啓発。	7,241セットの導入支援 (延べ学校数 高校3校、 中学校3校、 小学校19校)
7 - 4 森の資源研究開発事業 (42,068千円) (H18' ~ H21')	森林資源や森林空間を利活用する研究開発を支援。	延べ26団体を支援
7 - 5 「びわ湖材」産地証明事業 (16,726千円) (H18' ~ H21')	県産材であることを証明する制度を普及し、地球温暖化を防止する観点から輸送に伴うCO2排出の低減に貢献している木材であることを啓発。	34,070m ³ 認定 (産地証明数量 (一次発行量))
8 森林環境学習「やまのこ」事業 (227,693千円) (H18' ~ H21')	小学生を対象とする環境学習をすすめ、次代の森林を支える人材を育成。 次代を担う子どもたちが、森林への理解と関心を深めるため、学校教育の一環として、県内の小学校4年生を対象に森林環境学習施設において体験型の学習を実施。	県内241校(延べ 34,278人)が参加

琵琶湖森林づくり基本計画の進捗について

「琵琶湖森林づくり事業」は、「琵琶湖森林づくり基本計画」を着実に推進していくため、「環境重視」と「県民協働」の新しい2つの視点による森林づくりであり、平成18年度から琵琶湖森林づくり県民税を活用しながら、諸施策に取り組んできました。

その成果等は、年度毎に、「琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標達成度に対する点検・評価シート」(別紙)により取りまとめを行っています。

シートの構成は、「1 環境に配慮した森林づくりの推進」「2 県民協働による森林づくりの推進」「3 森林資源の循環利用の促進」「4 次代の森林を支える人づくりの推進」の琵琶湖森林づくり基本計画の基本施策からなり、その内容は、事業実施の翌年度において、滋賀県森林審議会にお諮りし、それぞれの施策に関連する各事業の推進の状況、問題点等、これらを踏まえた森林審議会での施策の方向性や進捗等についての評価等、およびこれらを受けた県の対応方針です。

各基本施策の基本指標項目および数値目標達成度等についての概要は、以下の通りです。

() 環境に配慮した森林づくりの推進

中期目標(H17～21までの目標)

【環境林面積】(再掲)

環境林整備面積については、琵琶湖森林づくり事業の主要施策として、その実績面積を中期目標の成果指標として掲げています。

(目標) 平成15年度 0ha 平成21年度 800ha(累計)

(成果) 平成21年度 553ha

(達成率) 69.1%

【年間間伐実施面積】

本県の森林は、特に間伐を必要とする人工林が多い状況にあることから、環境林整備をはじめとする積極的な間伐に取り組んでおります。

(目標) 平成15年度 1,920ha/年 平成21年度 2,600ha/年

(成果) 平成20年度 2,525ha/年(H21実績集計中)

(達成率) 97.1%

【年間間伐材利用量】

間伐材を搬出し、製品として活用することで、資源の循環と二酸化炭素の固定による地球温暖化防止に貢献することを目的としています。

(目標) 平成15年度 2,000m³/年 平成21年度 4,000m³/年

(成果) 平成20年度 3,740m³/年(H21実績集計中)

(達成率) 93.5%

基本指標(H17～32までの目標)

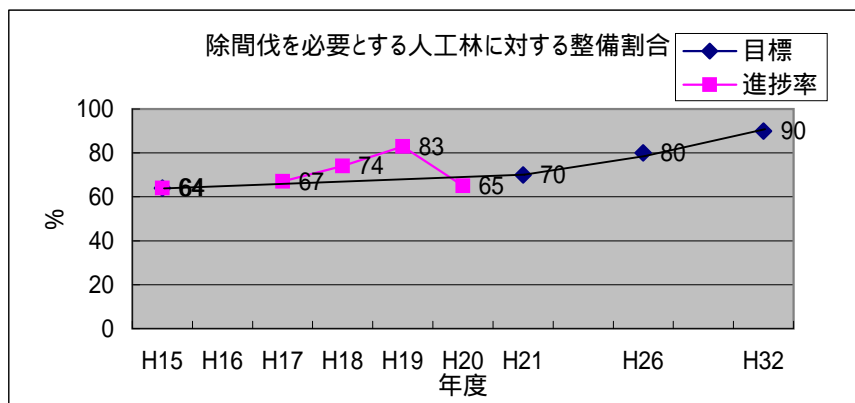
環境に配慮しながら木材資源の循環利用を目指す森林については、地域の実情に応じた効率的・効果的な森林整備を推進する。また、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるよう整備管理していく森林へ転換する人工林については、針広混交林へと誘導することを施策目標に、人工林の特性に配慮した森林整備の推進に取り組みました。

【除間伐を必要とする人工林に対する整備割合】

(目標) 平成15年度 64% 平成21年度 70% 平成32年度 90%

(成果) 平成20年度 65%(H21数値集計中)

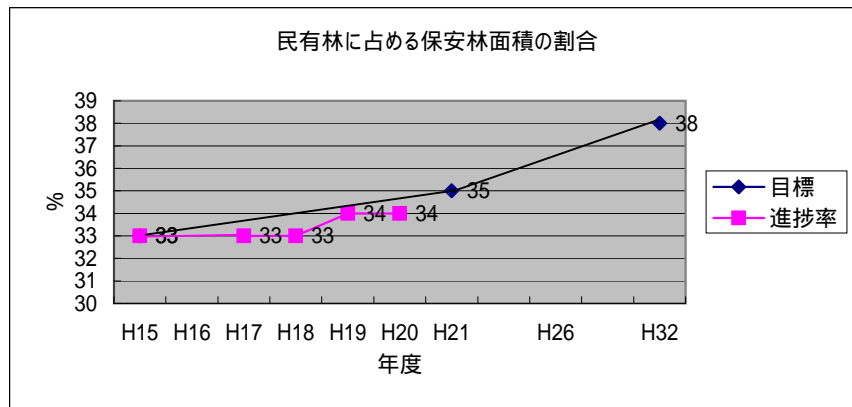
(達成率) 4%



森林の多面的機能を十全に発揮させるような森林整備に努めることを施策目標に、森林管理の推進を図りました。

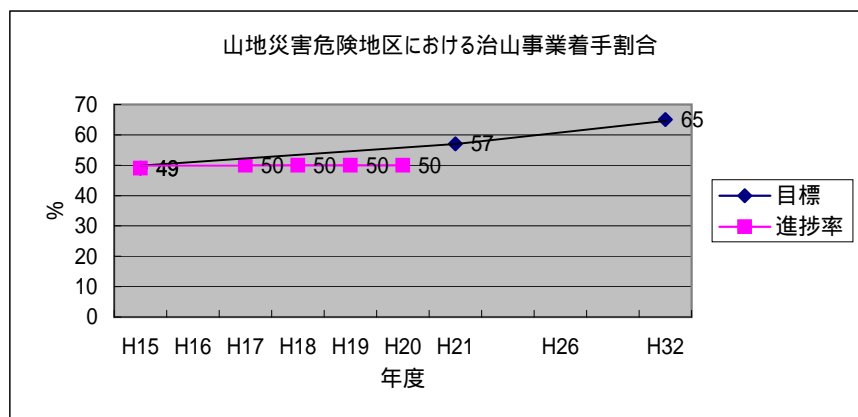
【民有林に占める保安林面積の割合】

(目標) 平成15年度 33% 平成21年度 35% 平成32年度 38%
 (成果) 平成20年度 34% (H21数値集計中)
 (達成率) 16%



【山地災害危険地区における治山事業着手割合】

(目標) 平成15年度 49% 平成21年度 57% 平成32年度 65%
 (成果) 平成20年度 50% (H21数値集計中)
 (達成率) 9%



() 県民の協働による森林づくりの推進

中期目標(H17～21までの目標)

【森林づくり活動市民団体年間延べ活動日数】

活動支援により、森林づくり活動が活発となり、森林づくり活動絵お実践している市民団体の活動日数も増加しています。

(目標) 平成15年度 190日/年 平成21年度 400日/年

(成果) 平成20年度 482日/年(H21数値集計中)

(達成率) 139%

【流域森林づくり委員会設置数】(再掲)

(目標) 平成15年度 0地区 平成21年度 7地区

(成果) 平成21年度 6地区

(達成率) 86%

基本指標(H17～32までの目標)

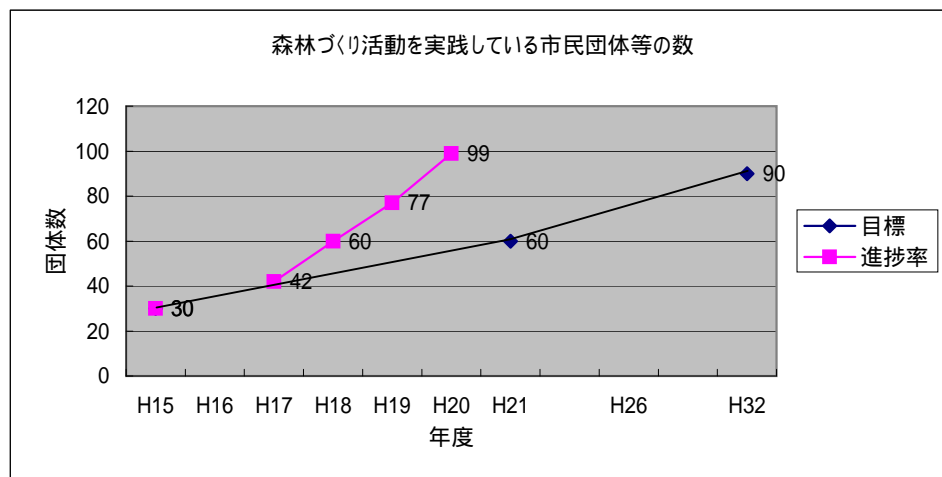
県民が主体的に森林づくりに参加できるよう森林・林業の情報提供や上下流連携による森林づくり活動を進める。また、流域の森林づくりのあり方、進め方について、広く県民が協働で活動できる組織の整備や活動を支援することを施策目的に、県民の主体的な参画の促進に取り組みました。

【森林づくりを実践している市民団体等の数】

(目標) 平成15年度 30団体 平成21年度 60団体 平成32年度 90団体

(成果) 平成20年度 99団体(H21数値集計中)

(達成率) 115%



県民の身近に存する里山について、県民協働で行う森林の整備保全活動を支援することを施策目的に、里山の整備・利活用の促進に取り組みました。

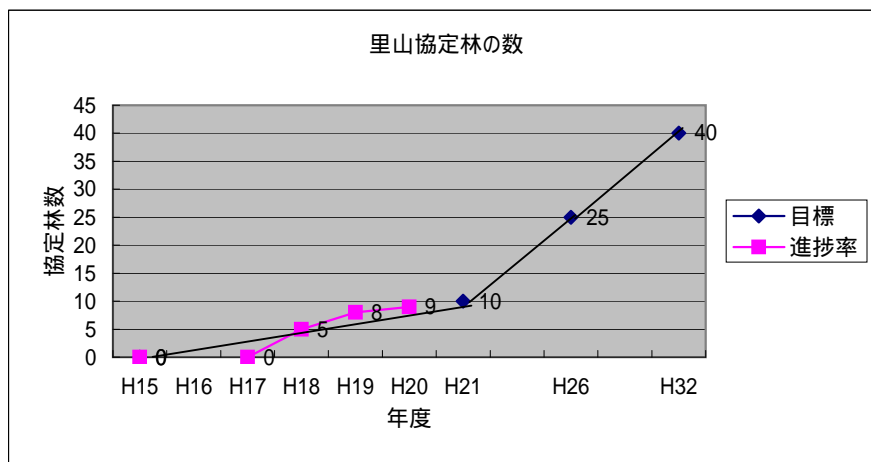
【里山整備協定林の数】

里山をフィールドに、計画から実行まで地域が協働して取り組む継続的な里山保全活動への支援を図りました。

(目標) 平成15年度 0箇所 平成21年度 10箇所 平成32年度 40箇所

(実績) 平成21年度 11箇所

(達成率) 27.5%



びわ湖水源のもりづくりの日・びわ湖水源のもりづくり月間が定着することを施策目標に、様々なメディアを通じた普及啓発の取り組みを行いました。

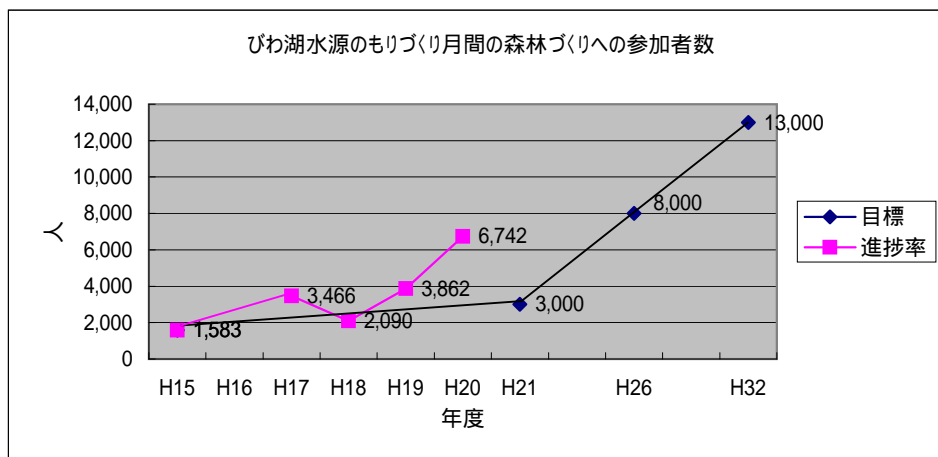
【びわ湖水源のもりづくり月間の森林づくり(取り組み)への参加者数】

森林づくりに対する県民の理解を深めるため、びわ湖水源のもりづくり月間(10月)にあわせて、各種の森林づくり活動を積極的に実施し、一般県民等が気軽に参加できる場を提供してきました。

(目標)平成15年度 1,583人 平成21年度 3,000人 平成32年度 13,000人

(成果)平成20年度 6,742人(H21数値集計中)

(達成率) 45%



() 森林資源の循環利用の促進

中期目標(H17～21までの目標)

【県産材の学習机累積導入数】(再掲)

(目標) 平成15年度 2,700セット 平成21年度 16,200セット

(成果) 平成20年度 11,033セット

(達成率) 61.7%

【びわ湖材産地証明割合】(再掲)

(目標) 平成15年度 - 平成21年度 20%

(成果) 平成20年度 42%(H21数値集計中)

(達成率) 210%

基本指標(H17～32までの目標)

住宅建築や公共事業などへの県産材の利用の拡大のための仕組みづくりに取り組み、地産地消絵雄住めることを施策目標に、県産材の利用の促進を図りました。

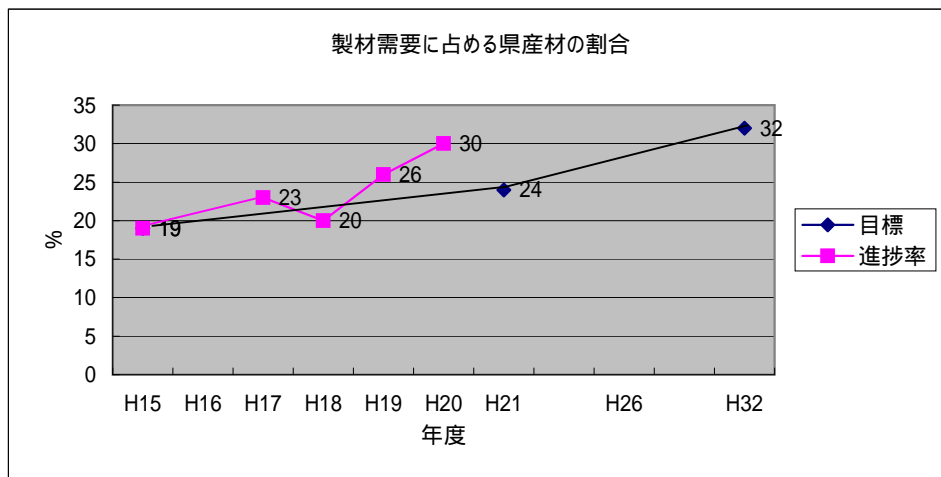
具体的な数値指標としては、以下の通りで、目標のペースを上回る成果となりました。

【製材需要に占める県産材の割合】

(目標) 平成15年度 19% 平成21年度 24% 平成32年度 32%

(成果) 平成20年度 30%(H21数値集計中)

(達成率) 85%



() 次代の森林を支える人づくりの推進

中期目標(H17～21までの目標)

【60歳以下の作業員の占める割合】

(目標) 平成15年度 46% 平成21年度 55%

(成果) 平成20年度 59%(H21数値集計中)

(達成率) 144%

【森林組合数】

(目標) 平成15年度 17組合 平成21年度 7組合

(成果) 平成21年度 10組合

(達成率) 70%

【森林環境学習の指導員が常駐する施設数】(再掲)

(目標) 平成15年度 1箇所 平成21年度 10箇所

(成果) 平成21年度 8箇所

(達成率) 78%

基本指標(H17～32までの目標)

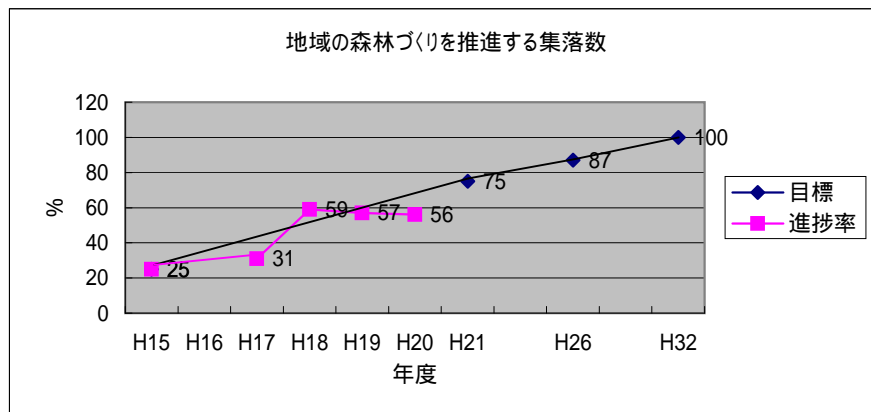
森林所有者・林業従事者が生き生きと森林づくりに取り組めるよう森林整備情報の提供や技術指導に努めることを施策目標に、森林所有者の意欲の高揚に取り組みました。

【地域の森林づくりを推進する集落数】

(目標) 平成15年度 25集落 平成21年度 75集落 平成32年度 100集落

(成果) 平成20年度 56集落(H21数値集計中)

(達成率) 41%



森林組合が地域の森林経営の中核的な担い手としての役割を果たせるよう、組織体制の充実と人材の育成に対して支援することを施策目標に、森林組合の活性化に向けた取り組みを行いました。

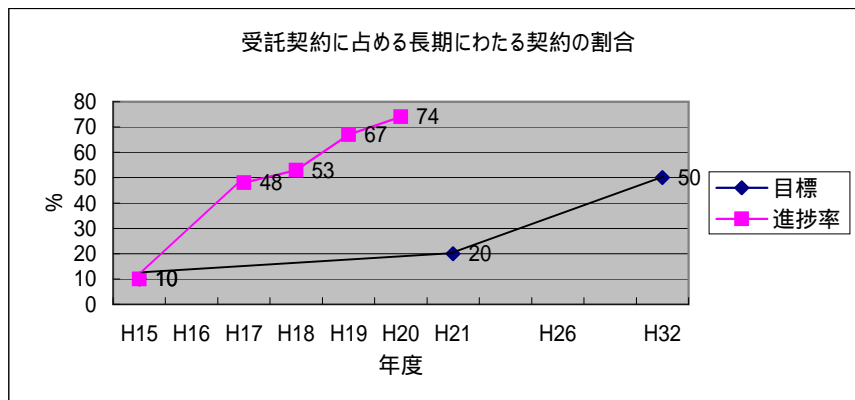
基本指標としては、以下の通りであり、数値目標を上回る結果となりました。

【受託契約に占める長期にわたる契約の割合】

(目標) 平成15年度 10% 平成21年度 20% 平成32年度 50%

(成果) 平成20年度 74%(H21数値集計中)

(達成率) 160%



県民に森林の多面的機能についての理解と関心を深め、森林づくりへの参加意欲の高揚に努めることを施策の目標に、森林環境学習の推進に取り組みました。

具体的な数値指標端も受けていませんが、事業実施の結果、滋賀県内の小学校のほぼ全体にあたる241校の参加により、34,278人の小学校4年生が森林環境学習「やまのこ」事業に参加することができました。

子どもたちが、体験を通じて森林への理解をより一層深めるためには、ゆとりあるプログラムの充実を図る必要があり、また、様々な世代への森林環境学習を展開する必要があります。

森林づくりに関する世論調査における県民税の認知度等について

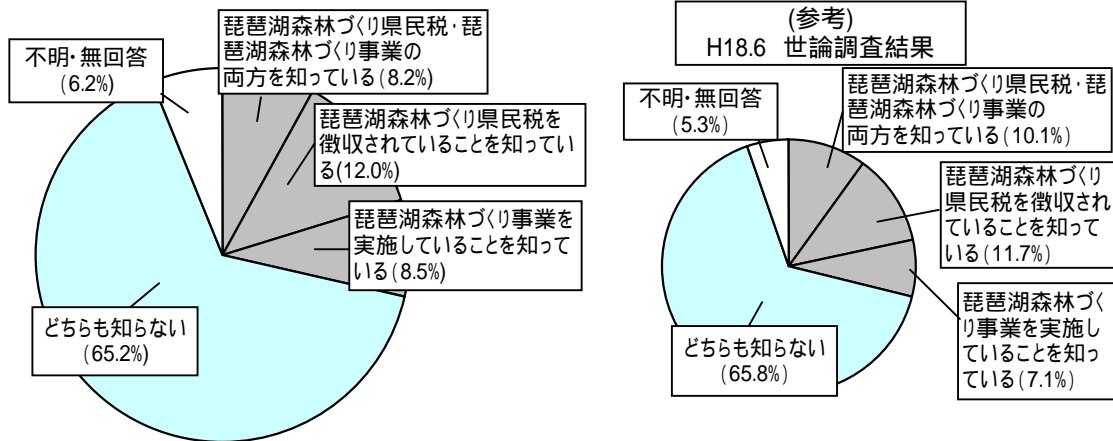
() 第42回滋賀県政世論調査(森林関係)の集計結果について

調査実施:平成21年6月 規正標本数(総数):3,509人
全体設問数:32問(うち、森林づくりに関する設問:問26～問32)

琵琶湖森林づくり県民税等の認知度

琵琶湖森林づくり県民税等の認知度(「琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていることを知っている」、「環境重視」「県民協働」の視点に立った森林づくり事業を実施していることを知っている」および「両方知っている」をあわせて)は、28.7%でした。「どちらも知らない」は、65.2%でした。

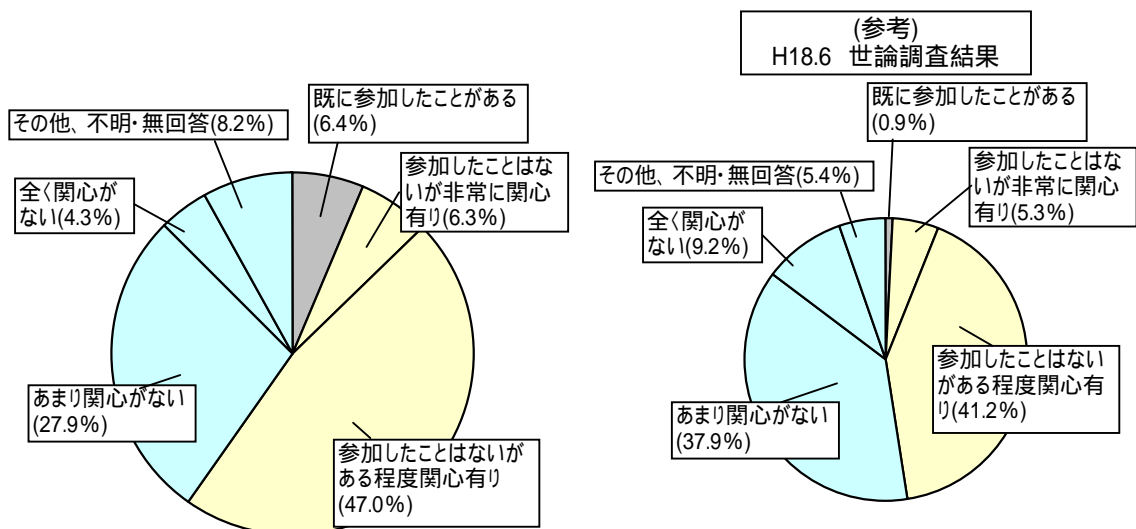
一方、平成18年6月の県政世論調査における同様の質問では、認知度は、28.9%で、「どちらも知らない」は、65.8%でした。



森林づくり活動への関心度

森林づくりに既に参加したことがある(「現在積極的に参加している」「活動に参加したことがある」をあわせて)割合は、6.4%で、前回(H18.6調査)では、0.9%であり、5.5ポイント上昇し、まだまだ数値としては低いものの、着実な効果を上げつつあると考えられます。

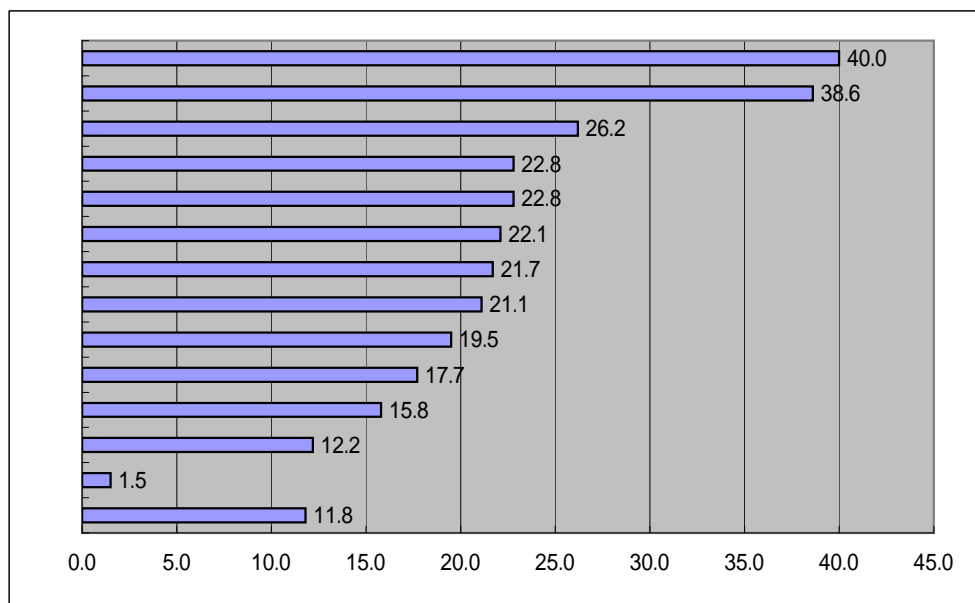
また、森林づくりへの関心度(「参加したことはないが非常に関心有り」「参加したことはないがある程度関心有り」をあわせて)は、53.3%で、前回(H18.6調査)では、47.5%であり、5.8ポイント上昇しました。



琵琶湖森林づくり県民税の望ましい使い道

「県民の利活用を図るため、荒廃している里山林の手入れ」が最も高く 40.0%、次いで、「針葉樹と広葉樹が入り交じった生態系豊かな森林へ導くための環境林整備や、森林吸収源対策としての手入れ不足の人工林に対する間伐の実施」(38.6%)、「森林づくりの担い手としての森林所有者、後継者、森林組合従事者の育成、確保」(26.2%)の順になっています。

また、地域別では、湖西地域で「森林への被害が著しい野生鳥獣(シカ、カワウなど)に対して、森林を守るための施策」が、35.0%と最も高くなっています。



項目 (内容)

県民の利活用を図るため、荒廃している里山林の手入れ

針葉樹と広葉樹が入り混じった生態系豊かな森林へ導くための環境林整備や、森林吸収源対策としての手入れ不足の人工林に対する間伐の実施

森林づくりの担い手としての森林所有者、後継者、森林組合従事者の育成、確保

次代の森林を支える青少年を育成するための森林環境学習

NPOやボランティアなど県民による森林づくり活動への支援や、県民が森林づくり施策に参画できる仕組みづくりなど、県民協働による森林づくり

再生可能な地域資源であり、二酸化炭素の固定による地球温暖化防止のための県産材の利用拡大や搬出路の整備

バイオマス利用をはじめ技術開発などによる森林資源の新しい活用

森林への被害が著しい野生鳥獣(シカ、カワウなど)に対して、森林を守るための施策

水源かん養機能を高めるため、伐採年齢を70～80年に延ばす長伐期林への誘導

木の温もりや良さを体感する機会を県民の皆さんに提供したり、PRする活動

滋賀県人工林面積の約1/3を占める県、市町、造林公社等が管理している公的な森林に対する地球温暖化防止や水源かん養等公益的機能の維持増進を図るための施策

森林の価値や森林づくりの意義などを説明し、森林づくりへの関心や参加を促す活動

その他

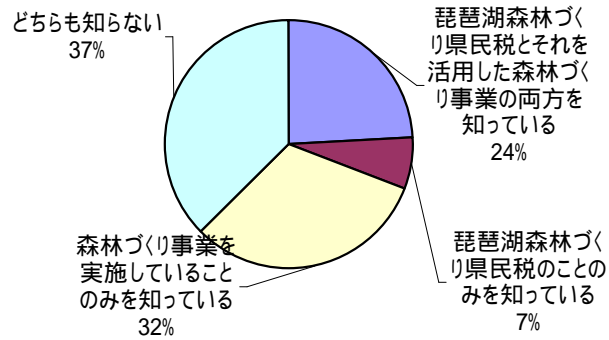
不明・無回答

()平成21年度開催の森づくり交流会での来場者へのアンケート調査結果について

調査実施：平成21年10月3日野洲市滋賀県立森林センターふれあいフェスタ会場
標本数(総数)93名(当日来場者) アンケート調査用紙での直接聞き取り方式

琵琶湖森林づくり県民税等の認知度

県民税と森林づくり事業の認知度



年代別認知度

	両方知っている	森林税のみ知っている	事業のみ知っている	両方知らない
20～40代	11%	5%	31%	53%
50代以上	50%	10%	33%	7%

平成19年～21年認知度

	両方知っている	森林税のみ知っている	事業のみ知っている	両方知らない
19年度	17%	8%	11%	64%
20年度	25%	12%	19%	44%
21年度	24%	7%	32%	37%